

令和4年度

富岡市額部公民館 事業報告書

令和5年4月

令和4年度の取り組み実績

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）のワクチン接種が進んだが、公民館利用の主体となる高齢者が感染すると重篤化するリスクが高いことから、県内の感染状況等を見ながら、徐々に活動を再開したため、全般的に計画通りには実施できなかった。

1 学習拠点

主催教室は、高齢者学級「生きがい塾」と初心者のためのLINE教室、子ども向け夏季講座以外は、継続のものばかりで企画はしても、実施までには至らなかった。

学習支援・学習相談では、会議室の予約のない日に自主学习用に開放したが、利用者はわずかで、ニーズ把握等の課題が残った。学習等の相談では、社会教育関係団体新規登録1件、代表者変更1件等の相談を受け、登録やサークル紹介等の支援を行った。

2 地域づくり

地域づくり協議会運営の負担が特定の役職に集中しないよう、部会制を導入するための支援を行った（R5年度から導入）。

地域まちづくり計画後期計画の策定支援を行った。後期計画は、進行管理が容易にできるよう、シンプルに組み立て、4年間で取り組む内容に絞り込んで設定した。

3 管理運営

円卓会議「ぬかべのわ」を出席依頼や割り当てをせず、自由意志での参加、出入自由で4回開催した。（ゆとり研究所：野口さんに運営支援をいただいた。）

額部公民館だよりをリニューアルし、住民からは大変好評だった。

岡本農村広場トイレの冬季凍結対策で、地域づくり協議会と連携し、仮設トイレを2基設置して、常時利用環境を整えた。

老朽化した1階会議室の照明をLED照明に更新。また、夜間の駐車場安全確保を図るため、地域経営係と連携して、正面玄関周りに照明設備を設置し、安全利用、快適利用環境の改善に努めた。

令和4年度から公民館事業計画を評価連動型として試行導入した。

5 令和4年度 主な事業実績

(1) 学習拠点

①主催教室・事業の企画・実施

区分	事業名	内容	人数	実施日
一般 高齢者	額部生きがい塾	今年度は、開講式後の第1回で、カリキュラムについて受講生で話し合い、意見を取り入れながら、作成・実施し、生きがい作りを支援した。（開講式、苔玉作り、筋トレ、グラウンドゴルフ、パーソナルカラー、まゆクラフト、ウオーキング）	延べ92人 登録者18人	全7回、5/26、7/12、 9/9、11/16、1/26、 2/27、3/20
一般 女性 高齢者	初心者のためのLINE教室	無料コミュニケーションツールLINEの使い方を学んだ。（LINEとは、アプリインストール、送受信、写真添付・保存、グループ、ブロック、アカウント登録等）	延べ17人 登録者7人	全3回、7/20、8/3、 8/17

こども 親子	夏休み木工 教室in norimoku	1回講座で、浅香入地区のnorimokuにお世話になり、木工作品を制作した。	10人	8/20
こども	夏休み宿題 サポート	2日間設定したが申込者が一人で1日のみ実施となった。大学生による指導。受講生は中2。	1人	8/12
一般	継続事業	書道、籐工芸、俳句、カラオケ教室を継続して開催し、入門編だけではなく、習得段階に応じた学習支援を行った。	延べ474人	令和4年4月～令和5年3月 78回

②自主学習グループ、自主学習対応

項目	実施内容	人数等	実施時期
学習成果の発表機会	「学び」は、学ぶことから、成果発表、成果の地域還元までが「学び」であることから、額部地区文化祭作品展を地域づくり協議会と共催で8日間開催した。	観覧者 延べ455人 従事者 延べ120人	2/19～26 8日間
図書室の充実	図書の閲覧・貸出を行った。新型コロナウイルス感染症対策のため、長時間利用となる、自主学習や打ち合わせ利用には供さなかった。	利用：7日 延べ8人	通年、平日開館日の19時まで
自主学習対応	自主学習対応のための1階学習室を開放した。(利用予約のない時間帯でできる限り行った。)	利用：6日 延べ10人	通年、開館日の19時まで 令和4年4月～令和5年3月 で265日開放
周知方法	公民館報、HPにより周知		通年

③学習相談、学習情報提供

項目	実施内容	人数等	実施時期等
学習相談の実施	学習相談を適宜実施した。 社会教育関係団体新規登録申請1件、同代表者変更届1件の支援を行った。そのほか、サークル紹介等を行った。	7件、7人	通年
学習情報提供	市や県等の情報、掲載を希望する学習団体・サークル等を公民館報やHP等で掲載、あるいはチラシ等を作成して周知した。	公民館だより掲載12回	通年

(2) 地域づくり拠点

①地域活動の支援

項目	実施内容	人数等	実施時期等
各種交流機会の創出	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、できることから少しずつ活動再開を支援した。 ①花いっぱい活動(額部小児童・額部保育所所児の協働で花苗をプランターに植栽し、地域に運び大人が育てるリレー方式の世代間交流) ②文化祭作品展(額寿会指導の下、額部小児童や額部保育所所児がマグダーツを体	①延べ100人 ②延べ100人 ③67人、604人 ④延べ110人	①6/15、10/19 ②2/22、23、25 ③6/26、9/18 ④2/24、3/1、9、14、16、25

	験) ③地区防災訓練(災害時の共助は、日ごろの訓練での交流から始まることから、地域避難所開設・閉鎖訓練、避難訓練を実施) ④ふれあい茶屋(高齢者の引きこもりや認知予防のため、各集会所等で余興や防犯・健康等を話し合う交流機会を創出)		
活動支援	地域づくり協議会活動を公民館報、HPに掲載することで支援 文化祭作品展を地域づくり協議会と共催し、額遊会・子育て連の活動状況を展示した。	2団体	適宜 2/19~26の8日間

②団体活動の支援

項目	実施内容	人数等	実施時期等
団体活動支援	①地域づくり協議会の運営が円滑に行えるよう事務的な部分を支援 ②特定の役員に負担が集中しないよう、役員会等で部会制導入の検討支援(R5年度から導入)。 ③文化祭作品展を共催、各種料理教室及びふれあい茶屋開催支援	②延べ103人	①通年 ②全7回、7/12、25、1/18、2/28、3/2、20、27 ③随時

③地域まちづくり計画

項目	実施内容	人数等	実施時期等
地域まちづくり計画策定支援	地域づくり協議会役員会で策定方針を確認し、「ぬかべのわ」での意見を参考に、役員会等で検討を重ね策定するまでを支援した。後期計画は4年間なので、出来ること、やるべきことをシンプルにまとめた。	延べ101人	全7回、4/22、6/28、7/12、25、10/17、11/7、14

(3) 公民館の管理運営

①公民館の運営

項目	実施内容	人数等	実施時期等
円卓会議の開催	地域のニーズを反映した運営を行うために話し合いと意見を聴く場として、特定の団体に依頼や依存せず、完全自由参加で4回開催。地域課題の自分事化、解決のための無理のない範囲での自主的・主体的な取り組みの意識づけが図られ、2つのプロジェクトが誕生し、自主的な試行が行われるなど、大きな成果がみられた。	延べ44人	全4回、9/4、10/2、11/13、1/14
コンプライアンス	法令順守を意識した運営(臨時開閉館や開館時間変更の意思決定起案等)を徹底した。チェックリストは、公民館独自のチェックリストを追加し、確認、改善を行った。		随時 チェックリストは4、8、12月の年3回実施

公民館だよりの充実	紙面をリニューアルした。 地域の話題や活動団体、学習グループ等を積極的に記事に取り上げた。 利用方法や利用制限等をタイムリーに周知した。		公民館だよりの発行（毎月1日）、年12回。活動状況12回、サークル等紹介10回、利用方法等3回
-----------	----------------------------------------------------------------------------	--	-------------------------------------------------

②サービス提供

項目	実施内容	人数等	実施時期等
地方自治法第2条第14項	①夜間利用予定の無い時は、事前周知のうえ閉館時間を早め、最少の経費で最大の効果を発揮するための運用を行った。 ②文化祭作品展期間中アンケートを実施して満足度やニーズ等を把握した。	②回答数114件、満足度92.7%	①夜間利用のない日 平日19時、土曜17時閉館。随時対応。 ②2/19～26。
利用者対応	①苦情・要望等に迅速かつ誠意を持って対応した。会議室照明老朽化⇒3月LED化、学習室畳老朽化⇒R5.9月補正要望 ②印刷機等の市民利用に対応した。（白黒のみ）		適宜

③施設管理

項目	実施内容	人数等	実施時期等
施設・設備の点検	日常の巡回時目視により施設・設備の状況を点検した。 専門業者による点検をしっかりと行った。 地区防災訓練に合わせて公民館を地区災害対策本部として、訓練に参加した。		目視点検：毎日 核種点検：随時 地域避難所解説閉鎖訓練 6/26、地区避難訓練 9/18

④緊急事態の対応

項目	実施内容	人数等	実施時期等
緊急事態の対応	緊急時連絡網による連絡体制を整えている避難所に指定されており、日ごろから危機管理課、地域づくり協議会と連携し備えている。		通年

⑤職員

項目	実施内容	人数等	実施時期等
研修への積極的な参加	必要な知識習得のための研修に積極的に参加した。	延べ14人	随時、13回
健康管理	休暇取得や時間外勤務、休日出勤等の状況を把握し、過重労働にならないよう時差出勤や休暇取得を促した。 定期健康診断等は全員が受診した。		通年

⑥評価

項 目	実施内容	人数等	実施時期等
公民館評価の実施	<p>公民館評価の仕組み（事業計画連動型）を導入し、施行した。</p> <p>公民館事業計画の項目と評価項目を一致させることで、事業実績＝評価となる仕組みを構築。しかし、指標が適正か（多少や難易度等）等を検証して、精度を高めるための試行とした。試行期間：2～3年</p>		<p>評価時期 4～5月</p> <p>前年度実績評価5月、 目標設定4月</p> <p>公表 7月頃</p> <p>評価結果の分析完了後</p>